

先輩紹介

A・Hさん

所属：教育支援センター
教育・研究支援課

入職年度：2014年



○現在の業務について

私の所属する教育支援センター教育・研究支援課は、主に教員に対する教育・研究支援業務を行います。具体的には、科学研究費等の競争的資金や補助金の獲得と執行、研究倫理に係る学内手続き、教員採用等の人事に関する業務です。

そのほか、入学式や学位授与式、オリエンテーションといった式典の企画・実施や教授会の運営、各種の規程の整備など学務業務全般も行っています。

その中で私は、文部科学省をはじめとする外部機関からの各種調査への対応、補助金の申請や学内研究費の配分と執行管理に係る業務などを担当しています。私は自分の仕事をとおして、教員がより授業や研究をしやすい場を提供し、学生がよりよい教育環境の中で学べるよう心がけています。

○渡辺学園を選んだ理由

数ある大学の中で私が渡辺学園で働きたいと思ったのは、本学が「自主自律」を建学の精神とし、人を大切にしながら明るく堅実な校風を持った大学であることと、きれいなキャンパスに心惹かれたからです。

採用面接の際にキャンパスを見学し、園児から学生までが同じ場所において、のびのびとしている姿を見たことが印象的で、その時に是非この大学で働きたいと思いました。

そもそも私が大学職員を目指した理由は、日本のこれからを背負う若者と共生し、その成長を支えるために専門家として職務に当たることができる最もやりがいのある仕事だと思ったからです。

大学職員の業務はとて幅の広い仕事だと感じますが、様々な業務を通して、学園の理念を学び、それを実現する担い手になりたいと考えています。

○仕事のやりがい

私の所属する教育支援センター教育・研究支援課は、大学設置基準をはじめとする法令や制度などの決まりに則り正確に業務を行う必要があります。

大きな責任を感じることも多いですが、仕事を通じて大学職員として必要な基本的、専門的知識を修得していくことのできる部署だと感じています。

また、自己点検・評価や各種調査への対応など、業務上他部署や大学全体の取り組みについて知る機会が数多くあります。これらの業務をとおして、大学の魅力を知ることはたのしくもあり、そこで得たことを別の業務に繋げ、教員や学生への支援に還元できた時に大きなやりがいを感じます。

一つひとつの仕事は小さなことかもしれませんが、私は私の仕事が大学の運営を支えていることを日々感じながら、自らの業務に取り組んでいます。

○応募者へのアドバイス

私自身、就職活動では本学のほかにいくつかの大学を訪問しました。

大学には固有の建学の精神、それぞれの歴史や文化があり、各大学の特徴は全く異なります。

渡辺学園がどのような大学であるかを知るには、実際に本学を見ていただくことが一番よい方法だと思います。

本学では、「東京家政大学博物館」を一般の方にも公開していますので、ぜひ一度お越しいただき、ご自身の目で本学を見ていただきたいと思います。

多くの大学の中から渡辺学園を選んでいただいた皆さんと、本学をよりよくしていくことを目指して一緒に仕事ができることをたのしみにしています。